

令和2年第3回中津川市議会「定例会」  
一般質問通告表

令和2年6月15日(月)

質問日	順序	質問事項	質問者	答弁を求める者	発言所要時間 (質問方法)
6 月 15 日	1	1. 新型コロナウイルス対策について	吉村浩平	市長	20 (一問)
	2	1. コロナ感染防止と自粛について	鷹見信義	市長 教育長 市民福祉部長	40 (一問)
	3	1. 令和2年度予算について 2. 新型コロナウイルス感染症を教訓とする緊急事態の体制や働き方等について	牛田敬一	市長 政策推進部長 総務部長 定住推進部長 商工観光部長 文化スポーツ部長 リニア都市政策部長 建設部長 教育長	25 (一問)
	4	1. 新型コロナウイルスによる今後の学校対応について	田口文数	市長 教育長 教育委員会事務局長	10 (一問)
	5	1. 中津川市の新型コロナウイルス感染症対策について	三浦八郎	市長 市長公室長 政策推進部長 総務部長 定住推進部長 市民福祉部長 商工観光部長	20 (一問)
	6	1. 新型コロナウイルスの検査体制と医療体制の抜本的強化について 2. 保育問題について 3. 税金や保険料の納付・支払いの猶予や減免について	木下律子	市長	40 (一問)

6 月 15 日	7	1. 新型コロナウイルス感染症対策の取組みについて	糸魚川伸一	市長 総務部長 市民福祉部長	15 (一問)
	8	1. 新型コロナウイルス感染症対策等と各種対応について 2. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所準備・運営について 3. 新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防と子どもの車内置き去りにについて	黒田ところ	市長 政策推進部長 総務部長 定住推進部長 市民福祉部長 商工観光部長 病院事業部長 教育長	30 (一問)

## 令和2年6月議会一般質問

中津川市議会議員 吉村浩平

### 1. 新型コロナウイルス対策について

今回は会派としてのウイルス対策の意味も込めて、中津川自民クラブとしての代表質問という形を取らせていただきます。

今年に入り、中国の武漢からのニュースとして新型コロナウイルスの話が飛び込みました。その後横浜のクルーズ客船がクローズアップされ、瞬く間に全世界への広がりと続きました。

中津川市においても今までにない状況であり、今後は新型コロナウイルスの影響を考え、生活習慣を変える必要があります。

人と会う時はマスクが欠かせないなどいわゆる三密を避けた生活を強いられ、コロナウイルスと共存する社会がこれからも続く可能性が高いと言われています。

これまでに市では多くの対策を行っていただきました。今日まで80億円を超える補正予算などで対応していただいております。その間市長をトップとしての全庁体制での素早い取り組みに対し敬意を表するものであります。

そこで、改めて以下について質問いたします。

#### (1) 一連の新型コロナウイルス感染防止対策の評価について

- ① まず、これまでの対策の全体的な評価について市長にお尋ねいたします。
- ② これまで行った対策の中で、一番インパクトのある1点についてお伺いします。一人あたり10万円の定額給付金の現在の市民への配布状況（申請率・支給率など）はいかがですか。

#### (2) 今後の市民生活への影響について

- ① 非常事態宣言が解除され、今後は第二波、第三波という話もある中、今後の市民生活にどのような影響が出るとお考えですか。
- ② 商工観光業はもちろん、農業・林業・畜産業を含めた市内全体への経済活動への影響についてどのようにお考えですか。
- ③ 経済全般の影響から市内の雇用情勢も、何らかの影響が出るものと予想されますが、どのようにお考えですか。
- ④ 教育に対する影響はどのようにお考えですか。

(3) 市の財政などへの影響について

- ① リーマンショック以上の落ち込みが不可避であると言われていますが、今後の税収をどう見込んでいますか。
- ② それを踏まえての今後の財源確保、予算立ての方針はどのようにされる予定ですか。
- ③ 現在計画されている各大型事業への影響はどのように予測していますか。
- ④ 今後の財政計画へはどんな対策を掲げて臨みますか。

(4) 今後の対策について

- ① 今後の対策の中で、特に心配される点について一点のみ質問をさせていただきます。新型コロナウイルス感染対策と同時に災害対策、特に避難所の開設等の対策が求められた場合の対応策についてどのような見解をお持ちですか。
- ② 今回の質問では、これまで市民生活や経済活動、雇用情勢、教育関係に関する今後の影響に対するご見解をお聞きし、併せて市の財政への影響についてもご見解をお聞きしました。様々な問題が山積している状況だと思いますが、その中でも優先順位をつけスピード感を持って対策を講じることが重要であると思います。そこで、市長としての今後の対策方針を今一度示していただけますでしょうか。

通告に基づき一般質問を行います。

新型コロナウイルス感染防止・自粛対策について質問をさせていただきます。

5月14日、岐阜県は緊急事態宣言を解除しました。先日、28歳の力士の感染死でコロナの怖さに衝撃を受けたばかりでした。世界中を襲ったコロナ。当初は、年末の武漢は対岸の話と思っていました。

マスクが無くなり買いに数軒回るが何処にもなく、個人的な伝手で手に入れました。

コロナはあっという間に広がり、3月に入り学校が休校。コロナ特措法で緊急事態宣言、自粛、三密と瞬く間にコロナ一色になり、公共施設閉鎖。業務閉鎖や失業困窮状況が報道され、医療・介護状況の厳しさに不安が募ります。朝、起きると発生数を確認する日が続き、自粛への気持ちができ脅迫めいてきました。自分は絶対に罹ってはいけない、私たちも頑張る時だと思ふ日々が続きました。4月頃には「自粛警察」という言葉も出て、気持ちがギスギスしました。

コロナ禍・超高齢社会を迎え、心配なのは年金額減少、医療・介護崩壊です。

宣言解除後、政府の対処方針で「新しい生活様式」が強調されていますが、三密の延長で個人や事業者には要請することばかりです。若者は、テレワークやローテーション勤務など働き方は変わって来ましたが、これも、個人の力だけでは出来ない、交通機関利用やネット活用も環境整備されないと。マスク着用も、注目を集めたアベノマスクがまだ届いていません。会った人との記録や食事の横並びや会話控えめ等ありますが、ここまで生活に政府が入り込んでくるとは驚きです。

対処方針ではもっと検査・医療体制の拡大強化、介護状況改善、補償や支援の充実、早期実現などの施策を前提に出すことだと思います。

第2、3次波があると言われ、北九州市ではその兆候もみられています。気を抜かないようにしなければと思います。

## 1、コロナ感染防止と自粛について

### (1) コロナ禍での子育てについて

- ①-1 3カ月に及ぶ学校休校により大きな影響が出ています。再開された学校への支援で最も大切なことは「少人数で丁寧にきめ細かく」学習支援を進める事です。中津川市での小中学校ではどのように「少人数学級」が行われていますか伺います。
- ①-2 政府の第二次補正予算案の施策、教員の加配3100人は中津川市に何人くらい配置されますか、また、どのように活用される予定か伺います。
- ①-3 体制強化に資金が不足する場合には、増額される自治体への新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使ってでもすすめていただきたい。新型コロナに伴う休校で3ヶ月間の空白があり、感染症対策も求められるもとで、子ども達の学びの権利を保障し、心身のケアを手厚くやっていくためには教員の抜本的な増員が必要です。中津川市への新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付限度額（令和2年5月7日補正後）は、3億2630万2千円と聞いています、その地方創生臨時交付金を使ってでもできないか伺います。
- ② 中学3年生で一クラス何人ならば密状態にならず、授業が出来ますか？その人数を超える中学校のクラス数と教室数を教えていただきたい。中学3年生は高校進学を控え、大切な一年です。少人数での指導・授業が必要な学年です。

- ③ 小学校の新一年生は入学式後すぐに休校になっています。家庭により学習準備の格差が大きいと思われる。どのような対策かお示してください。新一年生では15人以下クラスが適切という人もいます。
- ④ 夏休みの縮小や運動会の検討などで共同や連帯を培う教育が薄くなると思います。地域の子供会活動の工夫や進化（遊び場の確保や伝統行事の伝承などなど）を考える事も大切。農作業で野菜を育てる（地域子ども会を中心に）などなど。地域の子育て支援をどのように考えられているか伺います。
- ⑤ 自宅での時間が多くあり計画や目標が少ない中で、家庭を中心として地域の教育力や体制整備が求られていると思います。こうした時に市内で有効な「行事や取り組み」があったら紹介して頂きたい。
- ⑥ 加子母小学校の休校中のオンライン教育の成果や特徴、改善点などを紹介して頂きたい。4年生の参加人数、時間を中心に教えていただきたい。
- 新聞報道によれば、加子母小学校4年生が5月26日、学校と家庭をインターネットで結ぶオンライン授業で中津川署の署内やパトカーを見学し、警察の仕事を学んだ。地元の駐在所の署員が案内役を務め、子どもたちからの質問にも答えた。社会科の「事故や事件からくらしを守る」授業で実施した。と報じました。全市が目にする新しい教育形態の一つになるかと思います。
- ⑦ 私は、今度の学校給食無料化は、子どもの貧困化対策にも符合して大変いい施策であるとも思います。二次補正予算も活用してもう少し無料期間を延ばせないか伺います。
- ⑧ 子どもの登下校時の安全対策について、通学時などの見守り活動が各地で多く行われていますが、今後を登校開始時の健康観察、真夏時の暑さ対策、夏の暑い時の子ども達の荷物の軽減などが検討課題であると思います。地域に要望等ありましたら紹介して下さい。
- ⑨ 子どもへの感染防止のために、外部の専門者（清掃業者）や支援者がトイレ掃除・消毒・ごみ処理などを行うことが大事になってくると考えますが、どのように考えますかお尋ねします。用務員の増員、大工経験者の方がいいという声もあります。
- ⑩ 社会的養護を必要とする児童には、ひとり親支援メニューの徹底など対策強化が求められています。支援者の活動援助が求められています。1～3月調査で児童虐待が1～2割増えたと報告がありました。新型コロナ感染拡大による外出自粛や休校の影響で虐待リスクが高まると懸念されていますが中津川市ではどうでしたか伺います。厚労省は、支援が必要な児童らへの見守りを地域で強化するように自治体に求めています。

障がい児の教育支援は独自の強化・対策が必要かと思えます。該当児童の親さんへの支援も併せて考える事でもあります。恵那特別支援学校に通う子の母親のつぶやきを紹介します。

うちの子どもは支援学校に通っています。重度の知的障害を伴う自閉症で、日々の安定した生活を維持することがとても大切です。予期しない出来事や環境の変化に人一倍不安を感じやすい子に。この状況はたいへんなストレスになっているようで、情緒が安定しない日が増えているなぁと感じています。

明確なスケジュールを示して欲しい気持ちが強く、カレンダーを眺めては「春休みが終わったら学校」

「GWが終わったら学校」「6月になったら」とこちらにしょっちゅう確認してきます。「コロナ終わったら学校だよ」と言ってみても、目を見た情報は理解しやすいけれど目に見えないウイルスのことは理解が難しく納得できず何度も何度も聞いています。そして、「どうなるのかお母さんもわからない」と言えば、物を投げたり、大声を出すなどパニックを起こしてしまいます。

と、つぶやかれました。ある方の声では福岡、付知から、一時間近くかけて恵那特別支援学校へ通学することは、子どもたちは1日2時間もバスの中で過ごすということです。その間は、子どもの成長に必要な身体を動かして遊ぶこともできません。トイレで排尿が出来るようになり、学校では、パンツで過ごせるようになっても、長い時間バスに乗っている間に漏らすといけなから紙パンツをはかせているという話も聞きます。雪が降れば、事故が心配だからと、支援学校の通学バスは走りません。保護者が送っていけば、学校で授業が受けられます。中津川市から、支援学校に子どもを通わせている保護者は、もっと近くに学校があったらいつも思っていました。

そして、今回のコロナの問題が起こり、長時間、密の状態の中でのバス乗車は、感染が心配されるからと6月12日までは、通学バスは運行されず、保護者が仕事を休んで学校まで送るか、学校を休ませるどちらかになると聞きました。密状態のバス乗車を避ける方法の一つに観光バス会社の協力もひとつかなと思います。

- ⑪ 学校等休業助成金・支援金の申請状況はどれくらいあるか伺います。会社等事業者が申告しない場合は個人での申請が出来るのか伺います。
- ⑫ 学校再開にあたって、新しい評価基準、従来の関連にとらわれず興味が強いことから始める、評価を見直すなどが言われていますが、どのような方向性かを伺います。

北九州市の小学校でクラスターが発生、同級生5人感染が報道されています、学校を再開した当市でも心配されます。万全の感染防止が求められています。

この質問の答弁を頂く頃には、分散登校も終わるころになり、子ども達のつぶやきが聞こえてくるかと思えます。じっくり耳を傾け「普段以上の注意深い見守りが必要」と思えます。

## (2) 放課後児童クラブ・学童保育所について

新型コロナウイルス対策で全国的に「学童保育」に注目が集まるようになりました。

学童保育は国より「原則として開設していただくようお願いしたい」という考え方が示され、保育所と同様な役割を果たすことが求められました。午前中からの開所に伴い一定の予算措置が講じられましたが、施設条件の不十分さや規模の格差、学童保育指導員の劣悪な処遇、常勤指導員の少なさ、慢性的な人手不足など学童保育施設の脆弱さが浮き彫りになっています。

- ① 放課後児童クラブ・学童保育所の感染症防止対応備品（マスク・消毒液・体温計・ペーパータオルなど）は確保されているか伺います。

- ② 学童保育に入所の児童は学校再開にあたり、分散登校や短縮授業で学童保育に居る時間が長く、密を避けるため指導員は苦慮しているのが実情です。また学童保育に子どもを通わせる保護者は3密を避けることが困難な学童に我が子を預けざるを得ないことへの葛藤や仕事と子育ての両立の難しさを抱えています。保護者が運営を担う中津川市の学童保育は「今後学童保育を守り切れるだろうか」という不安も抱えて指導員と協力し、維持・存続のため努力を重ねています。行政として密を避けるマニュアル・指針などはあるのでしょうか伺います。
- ③ 国の第1次補正予算にある(1)「小学校の臨時休業等に伴う放課後児童クラブの対応にかかる財政支援」(4/30成立)(2)放課後児童クラブの利用料にかかる財政支援1人1日当たり500円(3)感染拡大防止に係る支援1事業所当たり50万円上限等の交付金を、市が確実に受けられる申請をしているか伺います。

(3) コロナ禍でも安心できる介護のために

コロナ禍で介護施設では、「利用者が減って経営が心配」「ショートステイの施設が見つからない」「職員は感染防止対応で、神経も疲労し消毒作業などで仕事量が増大した」「人手不足」など切実な状況報告や要望が上がっています。

- ① 感染の疑いがある利用者を訪問する場合の対応などを事業所任せにせず、国の責任で自治体や保健所に相談できる体制を早急につくる。感染の疑いがある場合は介護労働者も利用者も必ず検査を行い、介護を続けられるようにする国策で、国県が打ち出している感染防止策についての情報提供はどのようにされていますか？
- ② 介護・福祉事業者の職員への慰労金の支給は、いつごろ、いくらくらい支給の予定ですか。特別手当の創設はどうでしょうか？
- ③ サービス利用の再開支援等とは何を想定されているのか伺います。
- ④-1 事業所の感染対策の必要経費を補償することが必要です。  
感染症対策を徹底したサービス等の提供するために経費はどれだけと見積もられているのか伺います。
- ④-2 不足しているマスク、防護服、消毒液など病院と同様に優先的に供給することが必要ですが、現状はどのような状態になっているのか伺います。
- ⑤ 中津川市内の事業所で3月4月5月の利用状況はどうですか。  
減っているならば何%くらい減っているのか？ デイサービス施設、ショートステイ施設ではどうでしょうか伺います。
- ⑥ ヘルパーさんはこの状況（特に学校休校の時など）で必要な休みが取れているのか伺います。ヘルパーさん不足の施設はありますか（相談や苦情などは届いていますか伺います）
- ⑦ 介護相談員の方が月に6～7か所の事業所を訪問されていると聞いております、その方々からの特徴のある報告や多い要望をお聞かせ下さい。
- ⑧ 介護保険料の納付相談はどれだけ来ていますか伺います。その中で減額など善処した件数を伺い



ます。

- ⑨ 北海道札幌市の老人保健施設でのクラスターの実態が報道されています。92人が感染で11名死亡、二週間以上病院への入院出来なかった、介護崩壊などなどでした。

介護施設でのクラスター対策は出来ていると思いますが、状況を伺います。

- ⑩ 介護施設での感染防止の三密対策はどのようにされているか状況を伺います。



- ③東濃東部都市間連絡道路の内、桃山大橋から新たに結節される道路で拡幅されていない区間（桃山～駒場）の計画を伺います。
- ④上記区間の拡幅について、課題があれば伺います。
- ⑤青木斧戸線の整備 **(441,900千円) → 649,000千円 【青木斧戸線道路整備事業】**  
 用地取得と工事を実施とありますが、用地取得では全体計画の何%完了するのか伺います。
- ⑥総事業費を伺います。
- ⑦完成時期を伺います。
- ⑧リニア周辺のまちづくり  
 眺望を活かし人々が集う、リニア駅周辺の空間デザイン計画等の策定  
**(43,601千円) → 149,274千円 【リニア駅周辺整備事業】**  
 リニア駅周辺の空間デザイン計画を検討するほか、美乃坂本駅の自由通路と橋上駅舎の概略設計を実施とありますが、令和2年度中の成果物として市民にイメージ図等を公表できるのか伺います。

### (3) 重点施策 若者の地元定着・移住促進の強化

市の活力の源は人、将来の人口増につなげることがきわめて重要

- ・ 未来を担う若者の市外流出の抑制と地元定着を図り、その若者が安心して多くの子どもたちを産み、育てることができるまちを目指す
- ・ 予算の重点化を図るため、「未来の中津川のための優先事業推進枠」を設け、一般財源要求基準とは別枠で優先的な予算措置

- ①未来を担う若者の市外流出の抑制と地元定着  
 令和1年の取組み総括と令和2年の取組み方針（目標）を伺います。
- ②若者の市外流出の抑制と地元定着は、主に商工観光部に偏る傾向がありますが、全庁に渡る政策推進部を中心に取り組む考えはありませんか。
- ③若者が安心して多くの子どもたちを産み、育てる  
 令和1年の取組み総括と令和2年の取組み方針（目標）を伺います。
- ④企業訪問した際、抱えている問題を把握されていたらお聞かせ下さい。
- ⑤把握されている項目の対応策を伺います。
- ⑥予算の重点化を図るため、「未来の中津川のための優先事業推進枠」を設け、一般財源要求基準とは別枠で優先的な予算措置とありますが、具体的な事業と取組み内容を伺います。
- ⑦市内経営者から人の確保と住宅整備の要望を聞きますが、その認識はありますか。
- ⑧若者の地元定着等の施策を抜本的に見直す必要があると考えますが、所見を伺います。

### (4) 持続可能な行財政基盤の構築

財政運営のカギ⇒ ・継続的な財源の確保 ・経常経費の徹底的な見直しによる削減

- ①継続的な財源の確保について  
 施設使用料減免の見直し（文化スポーツ施設 平成27年度～平成31年度）  
 現 状：中学生以下の使用料の全額減免措置を実施  
 課 題：無料化に伴うモラル欠如が散見（2重予約・仮押さえ）  
           文化施設における減免規定に不均衡あり  
 取組み：受益者負担の適正化 ⇒平成28年度に使用料減免規定を改正  
           平成29年度～平成31年度：570万円/毎年 使用料収入

施設使用料減免の見直しによる実績額を伺います。

- ②目標に対し実績が出なかった要因を伺います。
- ③その要因に対する対策案を伺います。
- ④対策案をいつまでに完了させるのか伺います。
- ⑤経常経費の徹底的な見直しによる削減  
RPA（Robotic Process Automation）の導入を図るとありますが、どのような課題を解決しようとしているか伺います。
- ⑥導入費用と効果を伺います。
- ⑦運用開始時期を伺います。

## 2. 新型コロナウイルス感染症を教訓とする緊急事態の体制や働き方等について

新型コロナウイルスにより生活様式や事業活動が激変したなかで、市の緊急事態体制の在り方と今後の働き方を見直していく必要があると感じます。行政の立場から今回の経験を踏まえ、今後どのような取組みに注力していくのか伺います。

### （1）支援体制について

- ①未だ収束しておりませんが、緊急支援策を展開したなかで個人事業主や企業等からの要望がどのような内容であったか伺います。
- ②その要望をこれからの教訓としておくことがあれば伺います。
- ③緊急事態では、情報窓口の一本化と総合戦略が重要と感じますが現在、その体制が機能しているのか伺います。

### （2）教育環境について

- ①オンライン教育の考え方を伺います。
- ②オンライン授業を進めるうえでの課題を伺います。
- ③GIGA スクール構想の完了時期を伺います。

### （3）今後の働き方について

- ①災害で職員が出勤出来ない場合を想定するとテレワークの環境整備が必要と感じますが、IT・テレワークの取組みについて所見を伺います。
- ②オンライン会議が今後必要と感じますが、考え方を伺います。
- ③情報政策課の人員を伺います。
- ④情報政策の強化が重要と感じますが、所見を伺います。

以上

発言通告に基づきまして、一般質問をさせていただきます。  
今回は、大きく1点の1、新型コロナウイルスによる今後の学校対応について、質問をさせていただきます。

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の感染は世界に拡大し、世界保健機関は公衆衛生上の緊急事態を2020年1月30日に宣言しました。日本国内では、1月16日に初めて患者が報告され、2月1日に指定感染症に指定されました。また、今後の患者の増加に備えて、水際対策から感染拡大防止策に重点を置いた政府の基本方針が2月25日に示されました。

政府は、2月27日の新型コロナウイルス感染症対策本部で、全国の小中学校と高校、特別支援学校に臨時休校を要請しました。

その後、岐阜県も特別警戒宣言が解除され、学校では分散で授業が再開されましたが、学びが縮小され、保護者からの心配の声が多くあります。

以下、質問させていただきます。

- ①臨時休校によって、子どもたちの学びに遅れが生じてしまいましたが、学校再開後、これらの遅れを取り戻すためにどのような取り組みをされますか、お伺いします。
- ②夏休み、冬休みを短縮する計画がありますが、授業がわからない、ついていけない児童のために、土曜日の半日授業を計画してはいかがでしょうか、（あくまでも強制ではなく）お伺いします。
- ③全国的にオンライン授業が始まり、中津川市では加子母が早くから取り組まれてきました。今後、中津川市としてオンライン授業をどのように考えているのかお伺いします。
- ④保護者の方に、家庭に通信環境（Wi-Fi）等、パソコン、タブレット端末のハードの整備アンケート調査を実施しましたが、どのような状況ですか、お伺いします。
- ⑤Wi-Fi環境が整っていない家庭に対し貸出し等の支援は考えておりますか、国はLTE通信環境（モバイルルータ）の整備を支援しますと打ち出しておりますがお伺いします。
- ⑥生活保護の家庭に通信費の補助が出ないのかとの声があります。中津川市として何らかの支援はできませんでしょうか、お伺いします。

- ⑦休校となり、子どもの運動不足が懸念されております。中学生では部活動の練習もできず、運動不足になっております。運動不足解消が必要と思いますが、取り組みを、お伺いします。
- ⑧学校事業の運動会、修学旅行等はどうなりますでしょうか、お伺いします。
- ⑨感染対策として、マスク、消毒液、飛沫対策の亚克力板（透明）などは、どうなっておりますか、お伺いします。

## 令和2年 6月議会一般質問 三浦八郎

### 1. 中津川市の新型コロナウイルス感染症対策について

#### 【質問の経緯と趣旨】

職員のみなさんには新型コロナウイルス感染症の影響により、本当に多くの業務が増え、ご苦労されていることに敬意を表します。

今、心配されるのは新型コロナウイルスの感染拡大で地方経済が大きく減速してしまうことです。中津川市の主要産業である製造業も影響が出始めていると聞いています。また、国を挙げて取り組んできた観光についても大きな影響が出ています。身近なところでは活動・集会の自粛により、観光客の集まる地域イベントは相次ぎ開催中止となり、飲食、旅館、キャンプ場、交通業など小売り業を中心に地元企業は大幅な減収を余儀なくされています。

企業収益が悪化すると、企業が納める法人住民税や法人事業税が減少するとともに、解雇や減給になれば、従業員が納める住民税も減少する。企業収益の悪化は、これらの地方税の税収減につながり、中津川市の財政への影響が出てくると思います。

- ① 中津川市への今後の経済的な影響をシュミレーションしてみえますか。
- ② 中津川市として、いろいろなところへの独自の経済対策は考えてみえますか。(中小企業や個人事業者に希望を与えたいと思います。)
- ③ 中津川市として、今の状況、今後の状況を見据えて全ての事業の見直しや組み替えを検討する必要があるのではないかと考えてみえますか。

地域事務所や総合事務所は地域の住民にとって最も身近な相談出来る場所です。こうした新型コロナウイルス感染予防の自粛状況を考えると「住民福祉の増進」のためには強化する必要もあるのではないかと考えています。

- ④ 地域事務所、総合事務所の職員の人員が減少しているがどこまで少なくするのか。
- ⑤ 地域住民からの要望はいまだに区長さんを通じてくださいとの対応があります。個人であっても地域からの政策提言と捉えた対応が必要だと思っておりますがどうですか。
- ⑥ 地域事務所や総合事務所にもリモートワークを導入や ZOOM などを活用した WEB 会議やオンラインセミナーを活用した働き方改革も必要と考えますがいかがでしょうか。

地元の病院の先生から伺いました。新型コロナウイルス感染を心配する患者さんがたくさんいるが保健所に電話しても対応してくれないし自分自身も心配だといっていました。

- ⑦ 中津川市内全体の PCR 検査の状況は把握してみえますか。

# 2020年6月議会一般質問

市議会議員 木下律子

緊急事態宣言が解除されました。中津川市は感染防止のため、外出自粛など市民の協力や市職員皆さんの取り組みにより、今まで一人も陽性者が出ていません。すごいことです。

## 1、新型コロナウイルスの検査体制と医療体制の抜本的強化について

新型コロナウイルスの実態が次第に明らかになってきています。世界や国内の状況が報道されています。瞬く間に感染が広がり、医療崩壊やパンデミックの状況をテレビなどの報道で見てきました。

日本の現状はどうか。6月2日報道によると

- ・PCR検査陽性者 16,779 名。
- ・6月2日 24 時時点までに PCR 検査については、計 251,808 人の検査を実施。
- ・上記陽性者のうち入院治療等を要する者 1,270 名。
- ・退院又は療養解除となった者 14,602 名。
- ・死亡者 900 名。

岐阜県	151人
岐阜県	4447人
	3名
	141名
	7名

今まで新型コロナウイルスがどんなものなのかわかってきたことの中に、ウイルスが陽性であるにも関わらず、特に若い方に無症状や軽症の方が多いということです。気が付かないうちに感染していた方が普通の市民生活を送っている。しかしその人がウイルスを出し感染させてしまう。大変厄介な新型コロナウイルスです。

### (1) 第2波に備えるための徹底した検査について

今までの症状のある方を検査するだけでなく、疑われる人すべてを検査する。さらに積極的な検査をして、陽性の方が出たら隔離する。安心して生活し、経済活動できるようにするために、優先順位をつけて医療従事者・入院患者や介護・障がい者施設の従事者などクラスターが出やすく死につながる分野から優先的に検査をすることが必要だと思います。その為には今までの検査数より一桁多い検査体制が必要です。

検査体制について、お聞きします。

- ①現在の検査体制で1日何人の検査ができますか。
- ②今後の県の計画は1日何人の検査体制ですか。
- ③安心した社会生活にするには抜本的な検査体制の強化が必要ですが、いかがでしょうか。
- ④東濃地域で1日1000人の検査できるようになれば、症状が出ていない人にも検査ができるのではないのでしょうか。
- ⑤感染の広がりを把握する抗体検査を行う必要があると思いますが、いかがですか。
- ⑥検査機器と人員配置、財源が必要です。2波が来ないうちに今から準備、取り組み



が必要です。いかがですか。

## (2) 医療体制について

県が作成した「新型コロナウイルス感染症対策に関する医療提供体制の状況」という表が公表されています。資料をつけてあります。

① 患那保健所管内では患那市立病院と中津川市民病院です。中津川市民病院は中核病院として果たすべき役割があります。ぜひ県の要請にに応じていただきたい。いかがでしょうか。

② ホテルを借り上げ療養施設として使う後方支援施設。県の計画によれば県全体では400ベッド位で、東濃地域の患那峡グランドホテルは49ベッドです重症化した時の受け入れは中津川市民病院とお聞きしました。グランドホテルの地域説明会に行かれましたか。

③ どのような内容でしたか。

## (3) 財政について

① この間、新型コロナウイルス感染者を受け入れた病院、受け入れない病院も受診を控えるなどのために減収になっている。全国的には受け入れた病院ほど減収になっているとお聞きしますが、中津川市民病院、国保坂下診療所、そのほか4診療所はどのような財政状況ですか。

② 減収があれば、国に対応を求める必要があると思いますが、いかがですか。

## (4) 坂下診療所の現状について

中津川市では感染した方は今までなかったのですが、現在の新型コロナウイルス感染拡大で医療崩壊している様子をテレビなどで見ますと国保坂下病院の縮小・診療所化は、残念だなと思います。ベッドが使えないこと、とりわけ医師をはじめ、スタッフの体制がなくなったことです。社会の仕組みを変える必要があると、このコロナ禍を経験する中で実感します。安心・安全な社会にすることは公的機関がぎりぎりの人員体制ではなくて、ゆとりのある体制を構築すること。とりわけ災害が起きた時など公的機関の機能が求められます。とりわけ医療機関については縮小したらもとに戻すことは大変困難です。

① 坂下診療所には19床の入院施設がありますが、現在の外来・入院の状況はどうですか。

## (5) 治療薬やワクチンの開発について

ワクチンや治療薬ができなければ、終息できません。ワクチンや治療薬について情報があれば報告をお願いします。

## 2、保育問題について

この間のコロナ感染防止のために、学校や保育園・幼稚園も休校・休園になりました。

保育園児を持った保護者がそのために仕事を休まざるを得なかったかたも多くおられたと聞きます。とりわけ、パートや臨時など非正規労働の方の中には仕事をやめざるを得なかった方もあるとお聞きします。小中学校の児童・生徒や保育園児を持った家庭への支援として、給食代の無料化はよかったなと思います。

3才未満児の住民税非課税世帯は、保育料の無償化で保育料は支払わなくても良いのですが、その他の未満児の場合は保育料が高くてこのコロナ禍で支払いが困難という声が聞こえています。

### (1) 認可保育園・認可外保育園について

- ①この間休園中に子どもを市の要請に応じて休んだ場合、保育料はどうなりますか。
- ②この間、仕事をしていないので、給料がもらえないという方も多いかと思いますが、こんな場合、保育料の減免措置があると思いますが、いかがですか。
- ③さらに未満児の保育料をせめて1か月でも無料にしてもらえないかという要望がありますが、いかがですか。
- ④認可外保育園はこの間の実態がどのようになっているか把握されていますか。
- ⑤認可外保育園でも給食代の3カ月間の無料化はできませんか。

## 3、税金や保険料の納付・支払いの猶予や減免について

新型コロナウイルス感染防止に協力して休業された自営業者や仕事がなく休まざるを得なかった方が、収入がないためにせめて税金や保険料の納付や支払いを猶予してほしいと相談しても、今回は支払ってくださいと言われ、困っているという声がありました。

- ①取り組み状況をみても相談件数と申請数に開きがありますが、猶予や減免について、市税、国民健康保険料、後期高齢者医療の保険料、介護保険料、上下水道料金、市営住宅家賃それぞれの取り組みの状況を教えてください。
- ②災害などで売り上げや給料が急に下がった場合、減免制度があると思いますが、このコロナ禍の場合はどうなりますか。①の市税・料金それぞれの取り組みについて伺います。

# 新型コロナウイルス感染症対策に関する医療提供体制の状況

<令和2年3月現在調査結果>

保健所管内	帰国者・接触者外来医療機関数	ピーク時の患者推計数 (R2.3.6 厚労省計算式)		まん延期の入院受け入れ可能病床数 (3/16 病床調査)						保有数		
		入院治療が必要な患者	重症患者	肺炎	脳炎 脳症	ECMO PCPS	多臓器 不全	小児(※)	妊婦(※)	ICU 病床数	人工呼吸器 台数	ECMO台数
岐阜市	6	725	24	88		2	4	可	可	77	135	10
岐阜保健所	4	669	22	65	1	1	1			14	46	3
西濃保健所	3	672	23	90	1	5	6	可	可	35	51	7
関保健所	3	292	10	39	1	1	1	可	可	8	31	1
可茂保健所	1	399	13	19	1			可		22	22	2
東濃保健所	3	386	12	10		1		可	可	35	14	1
恵那保健所	1	257	9	8		1	1			10	12	0
飛騨保健所	3	305	10	31	1	0	3	可	可	14	30	0
岐阜県計	24	3,705	123	350	5	11	16			215	341	24

## <論点>

- ・まん延期を見据えた目標とすべき病床数（重症、中等症、軽症）
- ・後方施設の規模
- ・技師等の確保

医師・技師数、病床数を  
考慮した 稼働可能数  
(令和2年4月1日時点)

人工呼吸器 台数	ECMO 台数
106	12

**令和 2 年 6 月定例会**  
**一般質問要旨**

令和 2 年 6 月 4 日  
1 番 糸魚川 伸一

1.新型コロナウイルス感染症対策の取組みについて

**(1).避難所の感染拡大防止への取組み**

季節はこれから梅雨、集中豪雨、台風シーズンとなります。コロナ禍にあっても風水害や地震などの自然災害は避けることができません。そこで避難所における新型コロナウイルス感染症の対策について伺います。

- ① 国からは避難所の 3 密防止、健康チェック、間仕切りの徹底などの方針が打ち出されており、また、岐阜県からは「避難所運営ガイドライン」が県下の市町村に提示されており、当市におきましても「避難所運営マニュアル」が策定されているところだと思います。避難所運営マニュアルの改定につきましては現在どの様な状況でしょうかお聞かせ願います。
- ② 当市の避難の方針についてはどの様にお考えでしょうかお聞かせ願います。
- ③ 当市でもマスク・消毒液・パーテーション等の資材を購入されておるところでございますが、こうした資材につきましては十分な量であるとお考えでしょうかお聞かせ願います。
- ④ 国からは避難所について 3 密を防ぐため、体育館以外に学校の空き教室やホテルなど、分散避難が呼びかけられております。こうした施設の使用について当市の方針についてお聞かせ願います。
- ⑤ マスクや段ボールベッドなどを避難所に備蓄する際の費用について、また、民間施設を借り上げて避難所を設置・管理する事業を行った場合について、内閣府は地方創生臨時交付金の活用が可能であると説明をしております。地方創生臨時交付金の当市の活用方針についてお聞かせ願います。

**(2).自殺対策について**

自殺の多くは多様かつ複合的な原因及び背景を有しており、様々な要因が連鎖する中で起きております。「経済・生活問題」や「家庭問題」等、深刻化する中で、これらと連鎖して、うつ病等の「健康問題」が生ずるなどがございます。このコロナ禍、当該感染症に対してはもちろん、長く続きました外出自粛によるストレス、また、それに伴う家庭問題、そして、収入面での経済影響等、自殺に対して大変心配がされるところでございます。本年 3 月当市におきまして「中津川市生きること支援計画」が策定されました。策定にあたっては庁内で作業部会や委員会が設置され、庁外においても専門家の見識・市民の意見も取り入れられ、生活困窮から教育に至るまでの専門的かつ包括的なもので素晴らしいものであると思っております。こうした素晴らしい仕組みも市民の皆様から利用されなくては意味がありません。市民の皆様には支援の窓口について、幅広く多くの方に知って頂きたいと思っております。支援計画の中では周知についていくつかの方法が挙げられております。そこで伺います。

現在、情報を知るのにスマートフォンなどを使用したインターネットが中心となっております。

ます。こうした通信を利用して周知を図るということは一つの大切なツールであると考えます。例えば、「こころの体温計」というシステムがございいます。多くの人に気軽にチェックしてもらうことで、ご本人さんにご自身の心の状況を知ることができますし、先程申しました中津川市の支援機関について、また、医療機関を紹介でき、早期の解決に向けつなげることが可能と考えます。また、アクセス数という切口で市民の皆様の反応等を見ることができ、同時に利用者のこころの状態を統計的データとして把握することも可能でございいます。メンタル対策の企画立案の基礎データが蓄積できるということもあろうかと思ひます。近隣では多治見市、土岐市、瑞浪市が既に導入をされておひ、かなりのアクセス数があると聞いておひいます。こうしたシステムの導入は、この度策定されました中津川市生きることの支援計画の積極的な運用に結び付けられると考ひます。

① こうしたインターネットを使ったシステムの導入についてご見解をお聞かせ願ひいます。

自殺に対しては、経済の悪化、とりわけ失業が大きな影響を及ぼすと言われておひいます。このコロナ禍におきまして、経済政策につきましては現在様々な政策が進められておひいるところとございいますが、メンタル面はいかがでしようか。世界保健機構は、自殺者の9割は自殺の直前に何らかの精神障害を患っていたと見ておひいます。我が国でも自殺された方の4割を超える方はうつ病が関係しておひいると言われておひいます。メンタル面でのフォローが非常に重要だと考ひます。そこで伺ひます。

② うつ病をはじめとしたメンタル面へのフォローにつきましてはどの様にお考ひでしようかお聞かせ願ひいます。

### **(3)定期予防接種について**

法にて定められておひいます定期予防接種につきまして、厚生労働省は、「感染しやすい年齢を考慮して感染症ごとに接種年齢を定めて実施しておひいるものであることから、基本的には引き続き実施する」との方針を示しておひ、日本小児科学会も「可能な限り予定通りに実施すべき」と呼び掛けておひいます。

定期予防接種を受けずに感染してしまひますと、後遺症を残すことや死に至ることが心配される病気も少なくありません。厚労省は、特に乳幼児の予防接種を延期すると「感染症に罹患するリスクが高い状態となる」と強調されておひいます。今後も数カ月単位で新型コロナウイルス感染症の流行が想定されるとして、その間に予防接種を回避することはデメリットが大きいと指摘しておひいます。そこで伺ひます。

① 対象の予防接種を予定通りに受けて頂くため、とりわけ小児の予防接種を予定通りに受けて頂くため、当市の3密回避などの感染防止策について、また、対象の方への呼び掛けについてお聞かせ願ひいます。

② また、逆に接種期限が定められておひいます定期予防接種で、特に高齢の方など新型コロナウイルス感染症に罹患するリスクの方が高いと市町村が判断した場合は、厚労省は接種期限の延期も可能であるとしておひいます。当市はどの様な基準での対応をお考ひでしようかお聞かせ願ひいます。

令和2年6月議会一般質問（要旨）

市民ネット 黒田ところ

## 1. 新型コロナウイルス感染症対策等と各種対応について

### （1） 中津川市の新型コロナウイルス感染症患者等の受け入れ態勢について

新型コロナウイルス感染症患者が全国各地で発生し、近隣の県、岐阜県内の他市、東濃地区と患者が発生した地域が近くなるにつれて、市民の方から陽性者が発生した場合の市の体制についての問い合わせが多くなりました。このままでは、不安だからという声です。そこで以下の質問をします。

- ① 中津川市内、中津川市民病院になると思いますが、PCR検査を行っていますか。検査を受けることのできる対象者はどんな方ですか。
- ② 今まで検査が行われたとしたら、何人ですか。
- ③ このまま長引いていけば持病もあり不安だからPCR検査や抗体検査で、インフルエンザのように知りたい。と言われます。そういった受けたい市民の方が、今後中津川市民病院でPCR検査や抗体検査を受けることができるようになりますか。市としての方向性を教えてください。
- ④ 中津川市民病院では、県もしくは恵那保健所からの要請で、新型コロナウイルス感染症患者の入院体制が整えられていますか。用意されているベッド数はいくつですか。
- ⑤ 中津川市民病院では、人工呼吸器は何台ありますか。新型コロナウイルス感染症の患者に回せるのは何台ですか。
- ⑥ 今年の2月になり具体的に感染予防対策に取り組みだしてから今までに、中津川市民病院で新型コロナウイルス感染症患者の入院を受け入れていましたか。現在はどうか。
- ⑦ 中津川市民病院の医療スタッフの数はどうか。看護師など不足はありませんか。

### （2） 各種健診・相談等について

市内の各種イベント・行事等の中止とともに、乳幼児健診が延期となったり、がん検診が中止となっています。そこで以下の質問です。

- ① 延期となっていた乳幼児健診ですが、3か月検診、1歳6か月検診、3歳児検診それぞれ本来の受診対象者は順調に受診できていますか。また今後、延期措置はどのようにしていかれますか。
- ② 乳幼児相談は中止となっています。お知らせをみると、中止となっても人権相談などは具体的に緊急の相談窓口が記載されています。乳幼児相談はどのようにしていますか。
- ③ 妊婦教室、パパママ教室、赤ちゃん会、マタニティクッキングなども中止ですが、初めてママになる妊婦さん、パパさんの不安は、新型コロナウイルス感染症で今までになく大きいと思います。個別に具体的な対応をされていますか。またそれぞれの今後再開の見通しをどのように考えてみえますか。
- ④ こんにちは赤ちゃん事業等の現状はどうなっていますか。
- ⑤ がん検診が中止となっています。一部予約の再開も見えますが、通常、この3・4・5月の受診者は何人ですか。再開をどのように考えていますか。

### (3) 事業者等支援策相談窓口について

飲食店の方々から、補助金申請などよくわからない、市に電話しても2カ所3カ所と電話を回される。1回で済まないか。申請が良くわからない高齢の事業主は「申請そのものをあきらめている。どうにかならないか。」といった声をいただいています。

- ① そういった事業主の方へのわかり易い案内、相談窓口はどうなっていますか。

### (4) 教育について

学校が再開され子どもたちの声が聞こえるようになりました。受験生の保護者の方からは、勉強の遅れは心配だが、夏休みが短くなった中でしっかりやってもらえない。といった声もいただきます。その一方で、エアコンが設置されて夏の心配もなくなったが、昨年、子どもが暑いけどなかなかエアコンのスイッチを入れてくれない。暑くて頭がぼーとしてたまらなかった。今年はもっと暑い時期に授業があるけど今から心配。と話しているといわれました。

新型コロナウイルス感染症対策では、換気も重要です。1時限ごとの換気により、室温はまたすぐに上昇するでしょう。

- ① 杓子定規に、28度でとか、〇〇度でないといった温度の管理ではいけないのではと思います。教育委員会の考えを教えてください。

## 2. 新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所準備・運営について

新型コロナウイルス感染症対策を踏まえて、岐阜県が5月に『岐阜県避難所ガイドライン「新型コロナウイルス感染症対策編」』を出しています。避難者受付カードや受付の方法、専用スペースの作り方や様々なチェックリストや具体的な資料も添付されています。先だって高山市や美濃加茂市が実際に訓練をしたと報道されています。そこで以下の質問をします。

- ① 中津川市も昨年は避難所の開設が何度かありました。今年もその可能性は大きいと思います。集中豪雨や台風の時期を前に早々各避難所マニュアルへの追加項目の指示と訓練が必要かと思います。どのように考えていますか。
- ② 人員不足は、この新型コロナウイルス感染症対策で拍車がかかっていることと思います。今までに中津川市が養成してきた地域防災リーダーの方々を中心に、早急に模擬訓練、想定訓練が必要かと思います。どのように考えてみえますか。
- ③ 今年の総合防災訓練はこの新型コロナウイルス感染症対策の中では、今までとは大きく変えなければならないと思います。県の作成したガイドラインを市民お一人お一人に理解してもらうことなど中心に防災訓練に取り組んではどうでしょうか。どのように考えていますか。

## 3. 新型コロナウイルス感染症対策と熱中症予防と子どもの車内置き去りについて

新型コロナウイルス感染症対策の中、マスクやフェイスガードといった熱のこもりやすい状態にあります。大人の熱中症対策はもちろんですが、体温調整のできないお子さんを持つ親御さんへの注意喚起はとても重要だと思います。また、人込みを避けるあまり、ちょっと車に、といった車内への置き去りも心配



です。

- ① 今年はこれらの注意喚起の広報にしっかり取り組んでほしいと思いますが、どのように考えますか。